

いよいよ合唱コンクール（11/2金）です

1学期から選曲や伴奏者・指揮者決めなどの準備がスタートしていましたが、体育大会が終わった9月末から本格的に合唱練習が始まりました。そして1ヶ月。日に日に練習にも熱が入り、本番への緊張感が高まってきました。上級生との交歓合唱で刺激を受けながら…もっとうまくなりたい！と思うようにもなりました。実行委員を中心に、パートリーダーや伴奏者・指揮者からアドバイスを出し合ったり、少しでも早く練習を始めようと呼びかける仲間が増えてきたり…。そんな精一杯頑張ってきた「合唱」の発表の日です！

“感動ある合唱”をきっと保護者の皆様にお届けできると信じてます。ぜひ来校し、ご覧いただきたいと思います。

開会式 12:05～12:20
 1年の部 12:20～
 2年の部 12:45～
 3年の部 13:30～
 吹奏楽部の演奏 14:15～
 閉会式 14:35～
 （全校合唱「大切なもの」）

- ①1組「マイバラード」指揮；藤本舞衣、伴奏；中村奏美
- ②4組「つながる空」指揮；千葉壮悟、伴奏；大塚芽衣
- ③2組「旅立ちの時」指揮；川原ゆず、伴奏；安部楓奈
- ④3組「翼を広げて」指揮；太田和海、伴奏；一ノ宮里帆

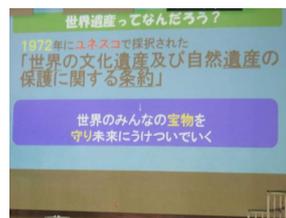


生徒総会（10/23火）

1年生から2名が生徒会役員となり、初めての大きな仕事が「生徒総会」でした。会の始まる前から不安で、緊張した様子でしたが、会の中では堂々と立派な発言ができました。学校全体を中心となって活躍してくれる2人、を学年としても全力でバックアップしていきたいです。

世界遺産出前講座（10/30火）

国語科の学習内容に「古典「竹取物語」」がありますが、その中に富士山についての話が出てきます。そこで、より富士山のことに詳しく学ぶ中で、古典にも関心を深めて欲しいと考え、「富士山世界遺産センター」の田代さんに来校していただきました。昔話“かぐや姫”は多くの生徒も知っているのですが、事前の授業から興味をもって取り組むことができました。



校長先生の授業がありました（10/30火）



「ミャンマーに絵本を送る活動」で、日本語の絵本にビルマ語に翻訳した言葉をシールにして本に貼り付ける作業を校長先生の指導の下で2組の生徒が行いました。自分たちも絵本で言葉を覚えたことを思い出して…楽しく活動しました。

この絵本がミャンマーの子どもの手に渡り、楽しく言葉を覚えてくれることを期待して授業を終わりました。



今後の予定 11 / 2 (金) ~ 11 / 12 (月)			完全下校
11 / 2 (金)	12学 “合唱コン”	※合唱コン終了次第→	
11 / 5 (月)	B日課 学2345 専門委員会 教育相談		16 : 45
11 / 6 (火)	B日課 3456 ⑤⑥人形浄瑠璃淡路人形座		16 : 45
11 / 7 (水)	A日課 1234道		15 : 15
11 / 8 (木)	B日課 123456		16 : 45
11 / 9 (金)	B日課 12345志	2年 ; WAZAチャレンジ	16 : 45
11 / 12 (月)	A日課 道23456 技家テスト	※部活なし	16 : 30

【最近考えたこと】 10 / 31のスポーツ報知の記事より…

～両親が明かす、大阪桐蔭高校・根尾の素顔と秘話～

先日、中日にドラフト1位指名された大阪桐蔭・根尾（18）の両親に取材させてもらう機会に恵まれた。通っていた小学校は1学年10人程度の小さな学校だった。現在人口1000人弱の飛騨市河合町に生まれた。保育園時は「バスケットボールの選手になりたい」と言っていたが…中学2年の春には「野球一本で行く！」と本人は決めていた。類い希な身体能力の高さは、小学校時代から野球、スキー、陸上の「三刀流」でやってきたからだろう。

小学校1年から地域のスポーツ少年団で陸上とスキー、2年から兄の影響で野球を始めた。根尾だけが特別ではなく、生まれ育った地域では、みんなが同じようにいろいろなスポーツに親しんでいた。小学5年時には陸上のジュニア五輪に出場。5年男子100mで5位入賞。陸上は中2夏まで続けた。

スキーはインストラクターの資格を持っていた両親の手ほどきを受け、中学2年の全国中学校大会の男子回転で優勝、翌3月にイタリアで開催された国際大会に日本代表で出場したが、44位だった。「野球のことが頭にあって、それどころじゃなかったみたいです。」と父。

国際大会期間中に、中学硬式野球の日本一を決める「ジャイアンツカップ」の予選があり、根尾が不在だった飛騨高山ボーイズは敗れた。主将の責任感からか、出場資格があったスキーのジュニア五輪を辞退し、ボーイズリーグの全国大会予選に出場することを選んだ。国際大会を最後にスキーはやめた。帰省時は「スキー場に行ってみよう」と言いながらも…ケガを避けるため、滑ることはない。

根尾の特長として、両親が挙げたのは「時間管理のうまさ」。「野球をやりたいから、学校で宿題を終わらせて帰ってきた」と母。「睡眠時間を取りたいから、9～10時には寝ていた。自分の好きな時間が欲しいために、集中して勉強をしていた」と父。父が驚いたのは昨年末、台湾遠征の時の事前説明会でスケジュール表をバラバラッと見ただけ。「この日は何時間眠れるとかを頭に入れてしまっていた。一番大事な睡眠時間をどれだけ取れるかを把握して、そこから練習や移動の時間を調整する。『すごいな』と思いました」と父。

時間管理は陸上やスキーで培われたものではないか、と言う。陸上はスタート時間やウォーミングアップ時間が日によって違い、スキーも降雪の状況やコンディションによって、1～2時間も待たされることがある。「時間管理は厳しいというか、うまい。いろいろなことを想定しながらも準備する癖がついているんでしょうね。」と父も舌を巻くほどだった。

…記事は続きます。

今をときめく根尾選手は中学の時から強い信念を持ち、自分の決めた道をひたすらに貫き通してきたのではないかと感じます。今、中学1年生の子どもたちを目の前にし、日頃から一緒に生活をする中で、どれだけの生徒が“志”を持って生活しているのだろうか？と思うのです。まだまだ将来の自分自身が見えず、悶々と悩みながら生活しているのがほとんどではないかと思えます。自分に自信がなく、周囲の目を気にしながら、体裁を気にして虚勢を張っているのではないかと思う姿も見られます。

中学校の3年間は、そんな不安定な時期を苦しみながら成長していくものだとも思います。目標がはっきりしてイキイキと生活する生徒もいれば、逆に手探りで1日1日をギリギリで生活する生徒も同居するのが学級ですね。私も久しぶりに1年生を担当して、生徒と一緒に毎日悩んでいます。今日も…1日をどのように過ごしていこうか…6時出勤し、パソコンの前でまた手が止まっています（苦笑）

